

一般社団法人

滋賀県介護福祉士会 ひろがり

The Shiga Association of Certified Care Workers

2022. 7

VOL.095

会員数756名 5月末現在



専門誌『介護福祉士』に論文が 掲載されたことへのお礼の言葉

滋賀県介護福祉士会理事
岡山県立大学保健福祉学部

口村 淳

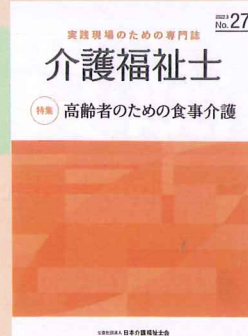
このたび、専門誌『介護福祉士』No.27（写真）に「介護福祉士が展開する卓越した実践の特徴——A県介護福祉士会を対象とした自由記述回答の質的分析を通して」という論文が掲載されました。内容については、すでに皆さんの手元に専門誌が届いているため、ここでは深入りしません。一般に専門誌や学会誌に論文が掲載されるには、「査読」というプロセスを経る必要があります。複数の査読者（匿名）による厳正な審査を経て、その指摘による修正をクリアした暁に、ようやく掲載が決定されます。提出すれば掲載されるのではなく、厳しく「質」が問われるのです。この研究の基になっているデータは、滋賀県の会員の皆さんの「声」です。その「声」を分析した研究が採用されたことは、皆様のご協力のたまものと、心から感謝しております。

本研究は、私が会長の任期中に調査・研究委員会（北村健宏理事、高田栄亮会長、口村）の活動の一環として行ったものです。その背景には、新型コロナが少なからず関係しています。会長任期の後半、新型コロナの影響を受け、予定していた研修やイベントが全て中止となりました。会員の皆さんに多大なご迷惑を

おかけしたことを、改めてお詫び申し上げます。逆境のなかでも、何かできることはないかと考え抜いた末、調査研究が浮かび上がりました。調査研究であれば、「人と接触することなく」できると考えたからです。本研究は、第一段階で全会員の中から調査協力者を募り、第二段階で「協力しても良いよ」という会員に対し、改めてアンケート調査を行いました。収集したデータを、北村理事、高田会長とともに分析し、論文にまとめました。研修やイベントが中止に追い込まれた悔しさはありましたが、コロナ禍に行った研究が専門誌に掲載されたことで、コロナ自粛に一矢報いることができたと思っております。

実践者にとって研究は、サービスの質を向上させるため、また自らの実践を評価する（振り返る）意味でも、欠かすことはできないものです。研究なき実践は、独りよがりに陥りやすいともいえるでしょう。現在の私は駆け出しの研究者ですが、これからも会員の皆さんの実践を下支えする立場として尽力する覚悟です。

あらためて、本研究にご協力いただき、ありがとうございました。



令和4年度 総会開催のご報告

去る6月11日（土）13時から、県立長寿社会福祉センター第1研修室に於いて、令和4年度総会を開催いたしました。委任状と出席会員により提出議事の全てが承認されました。総会終了後には、公益社団法人 日本介護福祉士会より「組織強化のための会費の見直しに関する説明会」がリモート開催されました。会場参加の会員のうち数名より質問が有りました。その後、東近江圏域働き・暮らし応援センター長 野々村光子氏による「目の前の人から教えてもらったこと～現場が地域を変える～」をテーマにご講演頂きました。

事務局



広報誌の表紙写真の募集

あなたの撮った写真で「（一社）滋賀県介護福祉士会」広報誌の表紙を飾りませんか？

皆様からご応募いただいた写真の中から広報誌（カラー版）表紙に掲載を予定しております。

お申込みは、個人でも団体でも構いません。採用させて頂いた方には、粗品を進呈します。

ご応募方法：写真データをE-mailにて事務局（shigakaigo@shiga-jaccw.jp）までお送りください。

必須事項：

- ・応募者のお名前（個人名）とご所属（記載の可否）
- ・写真のタイトル
- ・被写体が人物の場合は掲載の承諾を得てください。

介護福祉士 実習指導者講習 全4回



1日目(1月20日)

介護の基本・実習指導の理論と実際

H29年度から介護福祉士養成課程の新カリキュラムが変わり、実習前にどのような学習をしているのか、今どきの学生の特徴と対応方法や学生の人生に大きな影響を与えるのがこの実習施設であり、実習の要である実習指導者の役割・責任の重さを痛感し、実習指導者として自分はどうあるべきかを学びました。

2日目(1月26日)

介護過程の理論と指導方法

事例をもとに、介護過程を展開する重要な「アセスメント」「個別介護計画の作成」を実習生役として作成し、その次に介護実習指導者として実習生がどの部分でつまづくのか、指導のポイントを学びました。自分自身(受講生)が介護過程の展開を理解しなければ、学生の指導は難しいのではないかと、介護過程は実践しているが、業務に忙しく、「利用者の気持ちを聴いていたのだろうか」「偏見で見えていなかったか」「さまざまな考え方、視点があるのだ」という様々な意見があり、自分自身がやるべきことが見つけられたような1日でした。

3日目(2月10日)

スーパービジョンの意義と活用及び学生理解

実習生(学生)は、国籍・年齢・生活歴・価値観・社会経験値など異なっています。現在の実習生への対応は、複雑かつ

対人援助としての専門性が必要になってきているということ、介護過程の展開の部分指導だけでなく、精神面・技術面など多岐にわたり指導・助言をしていかなければならないこと、実習生へのスーパービジョンだけでなく、自職場の職員へのスーパービジョンも求められているということ等演習を通して様々な場面でのスーパービジョンの方法を学びました。

4日目(2月19日)

実習指導の方法と展開・実習指導における課題への対応・実習指導者に対する期待

最終日は、自職場の課題、学生の課題、自分自身の課題は何か、問題を抽出し、解決・対応方法をグループで話し合い、全員でワーク内容を共有しました。期待される実習指導者になるためのポイントとして講師から話があり、実習指導者として「教えずがないこと」「学び続けること」の重要性を確認してもらいました。

この4日間を通して、「横のつながりの大切さ」「実習生が来ないがスキルアップができて良かった」「現在の実習生に対する対応等、役に立つものがたくさんあった」などの意見がありました。

研修担当理事 池谷美紀

抱え上げない介護、が未来を変える!!

問題

抱え上げない介護で働き方改革

改善

2人介助で
抱え上げ介助!!



《介助される利用者》

自分の力で立つことができないので
スタッフに抱えられ、落ちないように
必死にしがみつки、身体に痛みあり。

《介助するスタッフ》

自分の力だけで支えるため、腕の力と
身体を反らし抱えるので腰痛あり。
長時間での介助にしようと焦り危険。



《介助される利用者》

リフトなので落ちる危険が無く安心。
支える面が広いので痛みも軽減。
目線が高くなり、視野が広がって
移乗だけでなく移動にも使っています。

《介助するスタッフ》

ゆっくりと丁寧に介助できるようになり、
抱える力を使わないので安全安心。
介助が1人のできることで負担軽減。

2人介助が
1人介助に!!



障害を理解する講座⑦ 精神障害 I

【主な疾患】 統合失調症、気分障害（うつ病・双極性障害）、依存症（アルコール・薬物・ギャンブル）
神経症性障害、老年期精神病、パーソナリティ障害 等

【要因】 生理学的な精神疾患のなりやすさ、「脳の脆弱性（身体的要因）」と、人生上のできごとや環境の変化に由来するストレスなどの「心理社会的要因」とストレスへの対処技能や周囲の支援体制（社会的要因）といった「防御能力」の要素がからみ、そのバランスが崩れて発病や再発が起こる。

【精神障害に関する誤解】

- ・幻覚、妄想という状態にずっと左右されている
- ・知的レベルが下がり周囲の状況が把握不可
- ・自閉的で他者、世間にはほとんど関心がない
- ・多くは見知らぬ人に危害を与えがちである
- ・育てられ方に問題があり、挫折が持病の原因



滋賀県介護福祉士会 現在開催予定の主な研修

研修名	開催予定日	日数
介護福祉士ファーストステップ研修	7月27日～3月16日	全15日
多職種連携研修	9月17日	全1日
介護福祉士実習指導者講習会	10月15日、11月12日、 12月24日、1月21日	全4日
介護福祉士基本研修 2フルー目	11月～1月(日程未定)	全4日
技能実習指導員講習	12月～1月(日程未定)	全1日
認知症ケア研修	1月～3月(日程未定)	全1日
介護過程の展開力を培う研修会 中部会場	2月～3月(日程未定)	全1日
介護技術研修	日程未定	全3日
ファーストステップ フォローアップ研修	日程未定	全1日
地域共生社会に関する研修	日程未定	全3日
介護福祉士受験対策講座(模擬試験)	日程未定	全1日
ブロック研修 介護技術(基本のき) 【今更だけど大切な基本】	湖東・東近江ブロック 7月12日	全1日
	甲賀ブロック 8月22日	全1日
	湖南ブロック 予定9月13日	全1日
	大津ブロック 予定10月3日	全1日
	湖西ブロック 10月24日	全1日

※日程が変更になる場合があります。※研修開催予定は、ホームページにて随時公開しています。

編集後記

6月に入り、いよいよ梅雨の季節となりました。過ごしやすい季節とはいえませんが、色とりどりの紫陽花が目を楽しませてくれる季節であり、雨音はストレス解消効果をもたらしてくれると言われています。

6月1日付けで感染再拡大警戒期間も終了し、これまで頑張って耐えてこられた会員の皆様にとって、心身ともに穏やかに過ごして頂ける季節になればと願います。

広報編集委員 清水 美里



一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072

滋賀県笠山七丁目8番138号

滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173

E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp

URL: http://www.shiga-jaccw.jp/



▲スマートフォンは
こちらから

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)

10:00～12:00

13:00～16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。

お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。